

# 令和三年度 奈良県知事賞

## 奈良県における地方消費税の増収について

大淀町立大淀中学校 一年 河口 結

僕が一番身近に感じた消費税のことについて書こうと思います。

我が家では、よく地元のスーパーで買い物をしています。父は職場が大阪なので、大阪で買い物をすることがあります。

買い物をするときを支払う消費税十パーセントのうち、二・二パーセントは地方消費税となっており、そのうち半分が県でもう半分が市町村の収入になります。

奈良県の地方消費税収は、全国四十七位です。奈良県の一世代あたり消費支出は全国十一位であり、決して奈良県民の消費が少ないわけではありません。なぜなのでしょう。その原因のひとつは、消費が県外へ流出していることが考えられ、奈良県民の県外での購入割合は、全国一位です。奈良県の地方消費税収を増加させるためには、県内消費を高める必要があります。地方消費税は奈良県や県内市町村の収入となり、道路や下水道の整備、医療や福祉の充実、小中高等学校教育、環境保護事業などの財源として私たちの身近な暮らしを支えています。また消費税率引き上げ分の地方消費税収一・二パーセント分は社会福祉、社会保険及び保健衛生に関する施策に要する経費に充てるものとされているそうです。

私たち消費者は、近所の商店街、デパート、スーパーなどの小売事業者から商品を購入する時に、消費税及び地方消費税相当分を含めてお店に支払いをしています。その後お店が消費税と地方消費税を一緒にお店の本店の管轄の税務署に納め、地方消費税が国から県へと払い込まれる仕組みとなっているそうです。本来、地方消費税は、最終消費地の都道府県に払い込まれるべきものだそうですが、製造事業者、小売業者及び消費者が複数の都道府県にまたがる場合は、最終消費者が負担した地方消費税の一部が最終消費場（商品を使用する場所以外の都道府県）に納付されてしまうのです。

このように、奈良県民が県内で買い物をする金額が少なく、県外で高価なモノを購入する傾向があるので、もっと奈良県に魅力的なお店を誘致するなど、買い物で奈良を盛り上げることで、県内での仕事のできる場所を増やすことができ、給料が増えると、税収が増え、結果として、国債や県債を減少させ、公共サービスの充実につながると思います。また奈良県でしか買えないモノやつくれないモノを増やすことで全国的に有名になれば、みんなが幸せになると思います。

まず自分にできることは、どうせ買い物をするなら奈良できるように父にアドバイスをしようと思います。また県外の人と話す機会があれば、当帰や梨、柿、柿の葉ずし、大和茶など良い物がいっぱいあるので、オススメしたいです。